

2011東京トラックショー
平成23年(2011年)
10月27日(木)・28日(金)・29日(土) **3日間**
Duration: 27 (THU)~29 (SAT), October, 2011/3days

会場 □ 東京国際展示場 (東京ビッグサイト)
Venue: Tokyo International Exhibition Center "Tokyo Big Sight"
主催 □ 株式会社 日新出版
Organizer: NISSIN Co., Ltd.
企画・運営 □ 東京トラックショー実行委員会
Promote Group-Conductor: Tokyo Truck Show Promote Conference
後援 □ 社団法人 全日本トラック協会
Backup Group: Japan Trucking Association

トラックショー事務局 後日新出版/後日新企画
http://www.truck-x.com
E-mail: yokoro@nissin-news.co.jp
〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-12 東銀座ビル TEL: 03-3542-7009 FAX: 03-3542-7915

2011 TOKYO JAPAN TRUCK SHOW

2011東京トラックショー

開幕迫る

復興はトラックから!!

27日・29日 東京ビッグサイト

27日から29日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで「2011東京トラックショー」が開催される。主催は日新出版。今回で15回目を迎え、来場者は8万人を見込む。トラックの車体だけでなく、関連する機器や塗装技術なども展示される。また、「リニューアブルトラックフェア」「電気自動車産業展」も開き、多種多様な情報を発信する。開場は10月17時。入場料は1000円。ホームページから入場券を印刷して持参すると無料。

1984年、東京トラックショーが初開催された。当時は車体と機器装置の出展だけだったが、4回目ごろからトラックメーカーも参加するようになった。回を増すごとに出品製品の幅は広がり、来場者も増加した。バブル期の最盛を過ぎると、トラック市場は減退傾向になった。その一方で、トラックの性能・品質は日々高まり、環境にやさしい効率的なトラックが数々誕生した。そうした技術・製品を発表する場として、東京トラックショーは貢献してきた。

今回の東京トラックショーのテーマは「日本のトラックに元気を」。震災復興は要だった。そこで、トラックの重要性が見直された。大震災の発生直後、物流が困難になり被災地では食料・衣料品などの生活用品が不足した。被災地の環境を少しでも良くするために、電気エネルギーにした高効率な生活用品が必要とされた。そこで、トラックの性能・品質は日々高まり、環境にやさしい効率的なトラックが数々誕生した。そうした技術・製品を発表する場として、東京トラックショーは貢献してきた。



会場にはトラックに関連するさまざまな技術・製品が並ぶ



運送事業者、運行管理者ら8万人の来場を見込む



屋外会場では実演を行い、実際の動きを確認できる

日新出版 社長

増田 周作

「2011東京トラックショー」は10月27日から開催されるにあたり、主催者としてこの機会を申し上げます。

1984年に第1回を開催して、回を重ねることに順調に発展し続けた東京トラックショーでしたが、第14回に当たる今回の東京トラック

見応えある出展

りました。しかし、こういう時期こそ東京トラックショーの灯火を消してはいけません。震災復興の切り札的存在であり、その需要回復は国家的課題であることから、東京トラックショーも生産活動が軌道に乗るころから出展申し込み企業が増加し、前回を大幅に上回る規模で開催される

「2011東京トラックショー」ではその直前に勃発したリーマンショックによるトラック大不況によって、開催そのものが危ぶまれる事態にな

つて、ショーは成立、万々の気を吐いたのはご承知の通りです。今回の東京トラックショーは、順調な進行が予定されておりましたが、3月11日に襲来した東日本大震災とそれに伴う生産活動の停止による不測事態が、展示の場として、東京トラックショーは変わっていったという印象を来場者の方々に抱いていただけたと信じています。

東京海洋大学の渡邊豊教授は3次元重心検知理論を開発した。リーマンショック後の大不況に加えて、未曾有の大震災が発生した。運送事業者が安全な運行を行うために最新技術を開発した。渡邊教授の技術が活躍する。トラックを30秒程度走らせるだけで車両の重心位置を割り出す。トラックの安全・安心技術として今後の展開が期待される。

東京海洋大学

し、横転しない限界速度を計算。積み荷の状態に応じた安全なコーナリング速度を事前に知らせ、運転手が着実にその警告に従えば、コーナーに入る前に十分に速度を落とすことができる。物流車両の横転と荷崩れを防止し、古い車両でも安全な運行を可能にする。日本発の安全・安心技術として今後の展開が期待される。

サンコーテクノ

国土交通省は5月から自動車運送事業者の運転手を対象に、アルコール検知器の使用を義務付けした。それに伴い、サンコーテクノはアルコール検知器の拡販を進めている。同社の業務用アルコール検知器は独自開発した接触燃焼式センサーを内蔵。単体の購入も可能だが、カメラを含む専用管理システムを活用すると写真による測定結果を、測定結果を「ALC Guardian mobile TR」を発売した。

デサン

今回、初めての東京トラックショーへの出展を決めたデサンは、30年以上にわたるトラック・架装業界を中心に事業展開してきた。中でも、大型・特殊車両の焼き付け塗装とマーキングフィルムを使用した「ステッカーマーキング」や「車両ラッピング」の分野では全国を商圏とし、広く展開している。今回の展示では年間5000件

出展者の製品・技術

今回は電気自動車普及協議会と「電気自動車産業マ」を併設で行う。同展示は、E.V.の普及が急務となる。E.V.の試乗会を開き、E.V.を身近に感じることが求められ、電気自動車場を用意する。

2011東京トラックショー出展

東京ビッグサイト 2011年10月27(木) 28(金) 29(土) 10時~17時

大型特装車の焼付塗装・車両マーキング・車両ラッピングなど、豊富な施工事例とラッピングバスの製作～施行の模様を動画にてご紹介いたします。



貴社のプロモーション活動を
トータルサポートいたします!

住友スリーエム特約加工代理店 ISO14001:2004認証取得事業所 詳しくはコチラまで http://www.dessan.co.jp
〒331-0815 埼玉県さいたま市北區大成町4-140
株式会社 デサン 048-651-1881

呼吸アルコール測定システム
ALCGuardianNet で IT点呼 始めませんか?
ALCGuardianNetは、テレビ電話機能を搭載し、リアルタイムでの会話が可能な、IT点呼に対応したネットワークシステムです。

出庫・帰庫表示機能 点呼記録簿機能 メール配信機能

リアルタイム会話 測定データの管理(集計・閲覧)

各事業拠点 管理拠点

2011東京トラックショー
IT点呼を体験できます
2011年10月27(木)・28(金)・29(土)
東京ビッグサイト 西ホール 会場時間 10:00~17:00
ブース番号「西2-18」

サンコーテクノ株式会社 センサー事業部 〒277-0803 千葉県柏市小貝田 30-1
http://st-alc.com/ ☎0120-071-735

横転/荷崩れ検知システム

積載状態不明のコンテナ
車体に設置の2軸ジャイロ
運転席に設置の演算・表示装置

3D 重心検知
Detection of Center of Gravity
PAT. Registered All rights reserved by Prof. Yutaka Watanabe
卓上3次元重心検知システム

3次元重心検知アルゴリズム演算表示装置
内部不明・質量分布不明物体
物体固有振動/動揺計測装置

開発者: 〒135-8533 東京都江東区越中島 2-1-6 東京海洋大学 海洋工学部 渡邊豊研究室
連絡先: 電話 03-5245-7370 (FAX 兼用) メール ywatana@kaiyodai.ac.jp